

みなさま、こんばんは。

さて、一時期ワクチン接種争いは落ち着いたかのようにでしたが、行政の方で医療機関にろくに通達もなくどんどんワクチン接種の拡大を進めており、札幌市では75歳未満に接種券が送付され、各医療機関、大規模接種会場ともにワクチン接種枠はまたもやパンク状態になっております。

さて、札幌市に住民票がある方については、本日午前9時より、札幌市が「基礎新患あり」の方のワクチン接種券送付の申し込みをインターネット上で開始しました。これは接種の予約ではなく、接種券を送付してもらうための申し込みです。腎移植後の皆様は「ステロイドなど免疫の機能を低下させる治療を受けている」および「慢性の腎臓病」の双方に該当しますので、このどちらかを選択して申し込んでください（どちらでも対応は同じです）。ドナーの皆様も腎臓が一個なので、「慢性の腎臓病」で申し込みが可能です。これで接種券が交付され、届きましたら、ワクチン接種の予約が可能となります。6月20日までに申し込むと、6月30日頃に発送されるようで、6月21日から27日に申し込むと7月7日に発送されるようですので、お早めにお手続きをしてください。なお、この手続きについては病院ではお手伝いできませんので、ご自身で行うようにお願いします。

2つ目に、ワクチン接種の予約等に関してです。現在、ワクチンの問い合わせのお電話をコーディネーター宛に多数いただいており、通常の業務が麻痺する事態に至っており移植コーディネーターでは対応が難しい状況になっております。当院でのワクチンはすでに8月まで予約が埋まっております。当院での接種をそれでも希望される方は、ワクチン予約の専用電話の方にご連絡をお願いいたします。申し訳ありませんが、コーディネーターの方では接種予約は対応しかねますのでお願いいたします。お近くのクリニックや大規模接種会場などお問い合わせをお願いいたします。職域接種（企業などで行われる集団接種）が可能であれば、それも問題ありません。ワクチンのブランド（メーカー）については当院では特に推奨はありません。報道などで色々根拠のあるものない情報が氾濫しておりますが、ブランドにこだわる場合はご自身でご判断ください。

3つ目に、腎移植後で免疫抑制剤内服中の方は、免疫抑制剤の作用によりワクチンの効果が低下すると考えられるため、なるべくワクチンの効果を高めるために、拒絶反応などが発生しないであろう安全な範囲で、免疫抑制剤の減量や休薬をしていただいております。どの薬をどの程度減量、休止するかは、個々の患者様により異なりますので、個別の対応が必要となります。免疫抑制剤の変更のご説明を口頭、書面でおこなうのが多数の方が一気に接種対象者になってきている現状で困難なため、電子メールで個別にご説明をする対応とさせていただきたいと思っております。今回、腎移植後の方のコロナワクチン対応専用のメールアドレスを新規に作成いたしました。

coronaiishoku@hokuyu-aoth.org

皆様自身で予約されて、ワクチン接種日が決まりましたら、このメールアドレスに接種日をご連絡いただきたく存じます。なお、メールにはかならずお名前をフルネームで記載するようお願いいたします。このメールリングリストにご登録いただいている患者様のアドレスについては、個人情報保護の観点から、それぞれがどなたのアドレスか分からないようにしてあるため、今回コロナワクチン専用メールにいただくメールにお名前がないとどなたからご連絡をいただいたのかが分かりません。メールをいただきましたら、こちらで免疫抑制剤の状態を検討し、減量、休薬の指示を具体的に返信いたします。一気にメールを多数の方からいただく可能性がありますので、接種日が近い方から順次対応させていただきます。

円滑な診療をご提供するために、以上、ご協力おねがいたします。

腎臓移植外科 三浦